

第7回 地域商社協議会@北海道帯広市 開催のお知らせ



2017年8月7日

ふるさと名品オブ・ザ・イヤ実行委員会
内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局
農林水産省 経済産業省 北海道経済産業局
帯広市

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤ」実行委員会（実行委員長：古田秘馬）は、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局、農林水産省、及び経済産業省とともに、昨年度約5回にわたり、地域商社事業を志す官民の関係者約250名を毎回全国から集め、「地域商社協議会」を開催してまいりました。

本年度は場所を東京から各地域に移し、地域ごとに課題とテーマを持って、現場視察も含めた地方版地域商社協議会を、各地域の経済産業局の協力を得て開催することとし、その第一回は、7月25日に香川県の三豊市で開催いたしました。三豊市は、現在、ふるさと名品オブ・ザ・イヤ実行委員会が提供するプロデュース・サービスを活用し、「瀬戸内うどんカンパニー」という地域商社の設立作業に取り組んでおり、当日も、地域商社設立途上の方々と、事業化している先達との熱い交流が見られました。参加者は170名を超える官・民の方々にご参加いただきました。

今回は、北海道帯広市にところを移し、十勝の豊富な体験型コンテンツを生かした農業・観光連携型モデルや、既にある様々な地域商社活動を地域ぐるみで応援するためのフードバレーとかちの活動といった北海道の取組をベースに、中国を中心としたアジアマーケットなど、インバウンド連携型の海外市場開拓を見据えた展開を検討の軸として、議論を進めていきます。北海道内の自治体、事業者はもとより、全国から、地域商社事業にご関心をお持ちの自治体、民間事業者の皆様にご参集いただければと思います。なお、帯広開催の後については、沖縄にて海外展開のテーマで開催を予定しております。

【実施概要】

- ❖ 日時：協議会 2017年8月31日(木) 13:00~18:00 (開場12:30) <無料>
懇親会 8月31日(木) 18:00~20:00 <会費制>
十勝地域現地視察 9月1日(金) 8:30~15:30 <会費制・参加人数制限あり>
美瑛町現地視察 9月2日(土) 10:00~15:00 <会費制・参加人数制限あり>

❖ 場所：とかちプラザ

〒080-0014 北海道帯広市西4条南13丁目1番地

<http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/tokachiplaza/a600110tokachiplaza.html>

❖ アクセス方法

帯広駅前（南口）

※お車でお越しの方は、駐車スペースが限られておりますので、満車の場合は、近隣の駐車場をご案内いたします

❖ セミナー内容：別紙参照

- 地域からご参加の皆様におかれては、お酒などの地域産品をお持ちいただけましたら、懇親会後半に、参加者からご紹介いただく機会を設ける予定です。

【お申し込み方法】

申込受付開始日は8月7日(予定)

ふるさと名品オブ・ザ・イヤ 公式サイトよりお申し込みください <http://furusatomeihin.jp>

※おひとりずつの事前申し込みをお願い致します。

お問い合わせ：ふるさと名品オブ・ザ・イヤ事務局（JTBコーポレートセールス内）

E-Mail：furusatomeihin@bwt.jtb.jp 営業時間：月～金 9:15-17:45（土日祝休業）

【セミナー内容】



— 第1部 —

13:00- ご挨拶 米沢則寿 帯広市 市長

13:20- オープニングトーク
村上 敬亮 (内閣府 地方創生推進室 次長)
古田 秘馬 (ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員長)

13:40- 基調講演① 『Post爆買い時代の中国市場開拓』
原田 劉 静織 様 (前トリップアドバイザー日本社社長)

14:10- 基調講演② 『ITを活用した、観光連携型の海外販路開拓について』
渡辺 大介 様 (株式会社クロスシー 代表取締役社長)

14:40- パネルディスカッション
『北海道の魅力を生かした観光連動型の、海外市場開拓について』

- パネリスト (予定)
- | | |
|---------------------|---------|
| 内閣府 地方創生推進室 次長 | 村上 敬亮 |
| ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員長 | 古田 秘馬 |
| 帯広市 市長 | 米沢 則寿 |
| 株式会社デスティネーション十勝 | 後藤 健市 |
| 株式会社ランドリーム 代表取締役 | 原田 劉 静織 |
| 株式会社クロスシー 代表取締役社長 | 渡辺 大介 |

15:20- 休憩 (10分)

— 第2部 —

15:30- 事例発表 ※コーディネイター 村上 敬亮
北海道内外の事業者<調整中> (各社10分程度)

16:00- 少人数セッション
北海道外で地域の販路開拓プロデュースに取り組む事業者と、北海道内で地域商社事業を営む事業者を一つずつセットに5つ程度のグループを作り、両者の事例を比較しながら、域外販路開拓の実践的手法について検討を深める。

16:50- クロージングトーク (進行・コメント: 実行委員長古田秘馬、内閣府村上敬亮)
少人数セッションにおける議論と提案された解決策を紹介し、そのポイントをレビューする。

17:30 終了

18:00 懇親会 (会費3,500円税込み) ※定員80名まで

【十勝地域視察内容】



現地視察

日時 : 2017年9月1日(金) 8:30~15:30

主催 : 帯広市

集合・解散 : とかちプラザ 正面入口

定員 : 30名まで

費用(実費) : バス代は無料。
訪問先での実費(昼食代等)は
2,000円/人を予定しています。

メニュー: 十勝において海外販路開拓や輸出展開を行う
モデル事業者などを中心に検討中です。

- 農業関連施設等
- 東南アジアに拠点をもつ事業者等
- 海外販路を行う菓子メーカー等

【美瑛町視察内容】



現地視察

日時 : 2017年9月2日(土) 10:00~16:00

主催 : 美瑛町

集合・解散 : 丘のまち交流館 bi.yell (ビ・エール)

〒071-0208 北海道上川郡美瑛町本町1丁目5番8号
一般財団法人 丘のまちびえい活性化協会
電話: 0166-92-5677

定員 : 10名まで

費用(実費) : レストランバス乗車料 10,000円

メニュー : 丘のまちびえいの景観を活かしたテスト事業である
レストランバスに乗車後に、地域農協が中心となった
地域商社機能である「美瑛選果」をご見学頂きます。

お申込み方法 : 8月25日(金)までに下記までご連絡下さい。

美瑛町役場政策調整課 課長補佐 佐竹正範
TEL: 0166-92-4330
E-mail: seisaku_chousei@town.biei.hokkaido.jp

注意事項

- ・レストランバスの乗車チケットは一般販売も行っているため、お申込時点で満席の場合はご乗車できませんので、予めご了承下さい。
- ・美瑛選果のみの視察については、その旨をご連絡下さい。14:30ごろからを予定しています。

とちプラザ アクセス

お車でお越しの方は、お時間に余裕を持ってお越しください。
当施設の駐車場は限りがございます、又、他の利用者也駐車致しますので、出来るだけ近隣の下記有料駐車場をご利用下さい。

〒080-0014 帯広市西4条南13丁目1番地

- ・根室本線帯広駅から 徒歩 3分
- ・とちプラザ帯広空港から、バスで約 40分
- ・音更帯広インターから、車で約 20分



お勧め（有料）駐車場

A : 帯広市帯広駅北地下駐車場
〒080-0012 北海道帯広市西2条南12丁目

B : 帯広市帯広駅南駐車場
〒080-0013 北海道帯広市西3条南13丁目

登壇者プロフィール



原田 劉 静織 (Shiori Ryu Harada) 氏

株式会社ランドリーム 代表取締役社長

中国上海生まれ。上海外国語大学日本語学科卒。1996年に来日、青山学院大学経営学部卒業後、IT企業を中心にビジネスデベロップメント&マーケティングを経験する。大手ソフトウェアのマーケティングディビジョンのトップとして、マーケットシェア一位を獲得し、それ以降、No.1のポジションを継続する。2013年9月よりトリップアドバイザー代表取締役社長に就任し、観光庁広域周遊ルート検討委員会委員を努めるなどインバウンド専門家として活躍。2015年7月より独立し、株式会社ランドリームを起業する。



渡辺 大介 (わたなべ だいすけ) 氏

株式会社クロスシー 代表取締役社長

株式会社ワークスアプリケーションズにてHR/会計/CRM/Eコマースシステムの営業に従事。その後中国にて日系企業への中国でのマーケティング事業を立ち上げる。2014年より現職。当社と日系企業向けソリューション提供で資本/業務提携関係にある飛拓信息技术(北京)有限公司 (Fractalist China Inc.) の日本事業部長を兼任。日本企業における中華圏向けプロモーション、越境EC、SNS~CRM業務におけるコンサルティングを得意とする。

米沢 則寿 (よねざわ のりひさ) 氏
帯広市長



1956年、帯広市生まれ。78年石川島播磨重工業(株)(現IHI)入社後、日本合同ファイナンス(株)(現株ジャフコ)に勤め、ロンドンでの勤務を経験し、2005年にはジャフココンサルティング(株)取締役社長に就任するなど、豊富な経験を活かし、10年4月帯広市長に就任(現在2期目)。11年7月十勝管内19市町村を含む産学官金41団体で構成されるフードバレーとかち推進協議会会長に就任し、食と農林漁業を柱とした地域産業政策「フードバレーとかち」を推進。



後藤 健市 (ごとう けんいち) 氏
株式会社デスティネーション十勝

1959年帯広市生まれ。26歳の時に地元に戻り、祖父が創設した社会福祉事業に従事し視覚障害者情報提供のIT化を推進。また、国内外での経験を活かし地域活性化の企画と実践、講演や人材育成・仕組みづくりを行う。2010年から海外連携を開始し、場所と人の繋がりを生みだし、新たな事業創生に取り組んでいる。地域活性化伝道師(内閣府)/スノーピーク地方創生コンサルティング(株)代表取締役社長/株式会社プロットアジアアンドパンフィック代表取締役社長/社会福祉法人ほくてん理事長、ほか

古田 秘馬 (ふるた ひま) 氏
プロジェクトデザイナー
株式会社umari代表



東京・丸の内「丸の内朝大学」などの数多くの地域プロデュース・企業ブランディングなどを手がける。農業実験レストラン「六本木農園」やレストランバスなどを手掛ける高速バスWILLER株式会社の取締役やクラウドファンディングサービスCAMPFIREの顧問などを兼任。2015年度ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会設立当初より実行委員長を務める。



村上 敬亮 (むらかみ けいすけ) 氏
内閣官房 地方創生推進室 次長

1990年通商産業省入省。湾岸危機対応、地球温暖化防止条約交渉、PL立法作業著作権法や不正競争防止法の改正等に従事。その後、クールジャパン戦略の立ち上げや地球温暖化問題の国際交渉に従事しCOP15とCOP16を担当。最近では、2014年7月に経済産業政策局調査課長に着任し3か月間エコノミスト稼業に従事した後、内閣官房、まち・ひと・しごと創生本部に出身し、地方創生の仕事に着任。